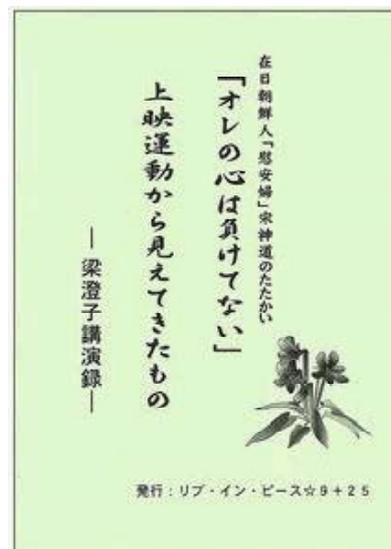


「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、
平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

「オレの心は負けてない」上映運動から見えてきたもの - - 梁澄子講演録 - - 完成

2月に発足した「戦争と女性の人権博物館」日本建設委員会代表で「在日の慰安婦裁判を支える会」の梁澄子さんの講演録が出来ました。「慰安婦」問題にかかわりはじめたきっかけや映画「オレの心は負けてない」制作のいきさつ、「博物館」建設にかける思いなどを語っています。この小冊子が、「慰安婦」問題についての人々の理解と関心を深め、真の解決にむけた一助となることを願います。この小冊子から得られる利益は全て、戦争と女性の人権博物館の建設募金に充てられます。一冊300円です。



3月8日にソウルで「博物館」着工式

いよいよ3月8日にソウルで「博物館」着工式がおこなわれます。「戦争と女性の人権博物館」日本建設委員会が2月7日の東京の集会で発足しました。日本でも「博物館」建設運動を担う主体を形成しさらに強化しようというものです。2月9日には関西での懇親会も開かれました。建設に必要な費用は3億円、うち現在集まっているのは約1億円です。残り2億円で、このうち日本での獲得目標を5000万円としています。2月22日の「オレの心は負けてない」映画上映会を新たな出発点として、私たちがさらに取り組みを進めていきたいと思えます。



2008年10月5日、「日本軍「慰安婦」問題解決のための講演集会」の梁澄子(ヤンチンジャ)さん。講演録はこのときのものです。

今後の「慰安婦」問題解決のための取り組み

3月8日の「戦争と女性の人権博物館」の起工式ツアー(韓国・ソウル)へ参加。

2月28日つながるコンサート東京への参加。

堺市、大阪市での市議会決議活動を支援しています。

「オレの心は負けてない
在日朝鮮人『慰安婦』宋神道のたたかい」上映会～「戦争と女性の人権博物館」建設に向けて～
2月22日(日) 2時～4時
浪速人権文化センター(JR芦原橋駅)

戦争と女性の人権博物館着工式ツアー報告会
(リーブインピース@カフェ)
3月15日(日)1時半～4時半
浅香人権文化センター(JR阪和線杉本町駅)
・「博物館」着工式韓国ツアー参加報告
・「博物館」建設を願うハルモニたちの思いなど。

[一月の活動]

イスラエルによるガザ攻撃・虐殺抗議の行動を行いました。

1月5日(月)イスラエルの虐殺抗議、アメリカ領事館前集会に参加 [ビラ配布]



1月10日(土) 中之島自由の女神像前集会(淀屋橋)に参加 実行委員会に参加
[ビラ配布]

1月20日(火)アメリカ総領事館前抗議行動に参加



1月22日(木)イスラエルの虐殺抗議集会(扇町公園)に参加。

1月10日の集会と
リブインピースのデモ隊列

ストップ「医療崩壊」の署名活動に取り組みました。

1月11日(月・休) 街頭署名活動(大阪駅)をしました。

1月25日(日) ストップ「医療崩壊」集会に参加しました。

『医療崩壊』にストップを!医療・社会保障予算の大幅拡大を求める交流の集いが1月25日、阪南中央病院労働組合と大阪大学附属病院看護師労働組合の主催で行われました。私たちも署名活動に取り組んできており、積極的に参加しました。参加者は110人にも登りました。



2月1日(日) 府下同時街頭署名行動に参加しました。



パレスチナ、ガザへの緊急支援のお願い

ガザの情勢は緊迫しています。イスラエルによる「一方的停戦」宣言後も軍事的脅威にさらされる状況は変わらず、四方をイスラエル軍と分離壁に包囲され「天井のない監獄」で深刻な人道的危機にあります。私たちは、軍事的・経済的封鎖を完全に解くこと、占領体制を終結させるよう要求します。私たちは、ガザへの緊急カンパの呼びかけに協力します。

イーココロ! (<http://www.ekokoro.jp/urgency/urg-1.html>) に複数の募金団体があります。

リブインピースも以下にカンパを行いました

郵便払込 加入者名: パレスチナ子供のキャンペーン

口座番号: 00160-7-177367 振込用紙等には「ガザ緊急」と書いてください。

リブ・イン・ピース@カフェ（例会）報告

2月1日（日）午後1時～4時半、浅香人権文化センターで、リブ・イン・ピース@カフェを行いました。内容は、1）イスラエルのパレスチナ虐殺抗議 2）神奈川の反基地闘争 3）巨大な軍事要塞＝原子力空母ジョージ・ワシントンを見学しての三つでした。“ピースニュース”と“キャンプ座間への米陸軍第1軍団の移駐を歓迎しない会”の方に報告していただきました。



2009年1月29日付主張

「海上警備行動」の拡大解釈による自衛隊のソマリア沖派兵反対！

首相・防衛相は、派兵決定・準備命令を撤回せよ！

政府は1月28日の安全保障会議で、アフリカ・ソマリア沖の「海賊対策」と称して、自衛隊法の「海上警備行動」を根拠に海上自衛隊艦艇を派遣することを決めた。防衛相は準備命令を出した。法解釈をでっち上げ、憲法違反の海外派兵を現行法で強行するという暴挙である。許し難い解釈改憲である。自衛隊法の一行を「拡大解釈」し、護衛艦だけとはにかく何が何でもソマリア沖に派遣しようというのだ。国会での議論さえ経ずに、安保会議という政府・与党の形式的議論だけで重大な海外派兵を決定した。首相官邸による恣意的・独断的・独裁的法律運用である。

そもそも日本の沿岸警備を想定した「海上警備活動」をアフリカに適應することがめちゃくちゃだ。しかも「海上警備活動」とは海の「治安活動」であり、重武装した護衛艦による威嚇と武力行使を前提とする。「武力による威嚇」そのものを目的とする海外派兵は「専守防衛」からの逸脱、従来の政府解釈の破棄、明らかな憲法違反である。こんな事がまかり通れば、無制限の海外派兵、武器使用が可能になるだろう。私たちはソマリアへのいかなる自衛隊派兵にも反対する。首相・防衛相は、派兵決定・準備命令を撤回すべきである。

リブ・イン・ピース 9 + 25

2008年の活動記録

- 10月5日 「日本軍『慰安婦』問題解決のための講演集会」梁澄子さん
- 10月26日 リブインピース学習会戦争と人間性とは相容れない 米帰還兵の問題から学ぶ
- 11月16日 映画『ぬちかふう』上映に向けて
朴壽南監督が語る 沖縄「集団自決」の真実と歴史改竄
- 11月23～25日 第9回日本軍「慰安婦」問題アジア連帯会議への参加
- 11月29日 リブインピース学習会
「平和的生存権 - 憲法9条と25条は切り離せない！」講師：岩本勲さん
- 12月27日（土） リブインピース例会「慰安婦問題」について



戦争と人間性とは相容れない
米帰還兵の問題から学ぶ
32 ページ カンパ 200 円
2008 年 12 月 25 日発行

3.22イラク戦争開戦6周年 映画&講演会
冬の兵士が語る「対テロ戦争」の真実
映画：「冬の兵士 - 良心の告発」
講演：田保寿一さん 資料代 500 円
3月22日(日) 午後 1:15 ~ 4:30 (1:00 開場)
浪速人権文化センター(JR 環状線芦原橋駅すぐ)
主催：ライブ・イン・ピース 9 + 25

ドキュメンタリーDVD作品完成!

つながる歌つながる舞
つながるいのち

戦争と女性人権博物館建設のための
チャリティコンサート東京

2009年2月28日(土)
東京一ツ橋ホール (TAMAGAWA)
出演：趙寿玉 (Choo Sooyoung / 趙寿玉)
李政美 (Lee Jungmi / 李政美)
安南民 (Ahn Nammin / 安南民)

入場料：一般 3500円 (税込) / 4000円
小・中・高校生 2000円 (税込) / 2500円

お問い合わせ先
Tel: 070-6524-9890 / Fax: 03-3991-5159
E-mail: tsunagaru@liveinpeace925.com
東京浪速区藤原2-44-20 liveinpeace925
http://liveinpeace925.com/tsunagaru.html

主催：つながるコンサート東京実行委員会

2月28日(土) 場所：東京一ツ橋ホール
18:00 ~ つながるコンサート

ライブインピースだよりの 発行準備をしています

10月5日の講演集会で、ライブ・イン・ピース 9 + 25が出来てから、4ヶ月が経ちました。私たちは、平和的生存権をかかげ、「慰安婦」問題をはじめ、戦争反対や命と生活を守るための取り組みを進めてきました。このたび、会員・賛助会員をつなぎ、活動を紹介する会報「ライブ・イン・ピースだよりの」を発行しようと思います。みなさんの投稿なども募集します。ぜひご協力ください。(ライブ・イン・ピース 9 + 25 N)

ライブ・イン・ピース 9+25
TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪)
E-mail info@liveinpeace925.com
http://www.liveinpeace925.com/
郵便振替：00910 - 5 - 107564
加入者名：ライブインピース
ライブインピースの会員、
賛助会員を募集しています。